

令和 8 年 度 第 1 回 理 事 会 の 開 催

令和 8 年度 第 1 回理事会が令和 8 年 6 月 4 日、本会会議室及びインターネットを用いたオンライン出席を併用して開催された。本理事会では、決議事項として 5 議案について諮られ、承認された。協議事項及び説明・報告事項の後、連絡事項として当面の主要会議等の開催計画に関する件等の説明がなされた。議事概要は以下のとおりである。

令和 8 年度 第 1 回理事会の議事概要

I 日 時 令和 8 年 6 月 4 日(木) 14:00～17:30

II 場 所 日本獣医師会・大会議室

III 出席者 (*はオンラインによる出席者)

【会 長】 藏内勇夫

【副 会 長】 鳥海 弘, 西山治生, 栗本まさ子

【専務理事】 伏見啓二

【地区理事】 田村 豊(北海道地区)*

小山田富弥(東北地区)

宇佐美 晃(関東地区)*

上野弘道(東京地区)

佐藤 博(中部地区)*

長谷川哲也(近畿地区)*

安食政幸(中国地区)*

草場治雄(九州地区)*

【職域理事】 佐藤れえ子(学術・教育・研究職域理事)

立川文雄(産業動物臨床)*

森 尚志(小動物臨床)

吉武 朗(家畜共済)*

島村 剛(家畜防疫・衛生)*

梅田浩史(公衆衛生)*

佐伯 潤(動物福祉・愛護)

石橋朋子(特任)*

【監 事】 市川陽一郎, 佐々木一弥, 柴山隆史

【顧 問】 酒井健夫, 砂原和文*, 村中志朗

【オブザーバー】 栞島正徳(香川県獣医師会副会長, 四国地区代理)*

【欠 席】 北村直人(顧問)

IV 議 事

【決議事項】

第 1 号議案 令和 7 年度事業報告及び決算に関する件

第 2 号議案 第 83 回通常総会に関する件

第 3 号議案 役員候補者の選出に関する件

第 4 号議案 賛助会員の入会に関する件

第 5 号議案 諸規程の一部改正に関する件

【協議事項】

本会事務・事業の経費削減・改善案に関する件

【説明・報告事項】

1 狂犬病予防法に基づく自治体事務の DX 化等に関する件

2 第 41 回世界獣医師会大会(WVAC)の開催報告に関する件

3 令和 8 年度動物愛護週間中央行事及び 2026 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” の開催に関する件

4 第 44 回日本獣医師会獣医学術学会年次大会(令和 8 年度)の開催に関する件

5 特別委員会及び部会委員会に関する件

6 職務執行状況の報告に関する件(業務運営概況等を含む)

7 その他

(1) Thanks Buddy Project の実施報告に関する件

(2) その他

【その他の報告・連絡事項】

1 当面の主要会議等の開催計画に関する件

2 日本獣医師連盟の活動報告に関する件

3 その他

V 会議概要

【開 会】

事務局から定款第 41 条に規定された定足数を満たし、本理事会が成立することが報告され、開会した。

【会長挨拶(大要)】

本日はご多忙の中、本年度第 1 回目の理事会にご出席をいただき、誠にありがとうございます。

去る 4 月 21 日から 4 日間、東京国際フォーラムで開催いたしました第 41 回世界獣医師会大会に際しましては、会員獣医師等、多数の参加登録にご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございました。開会式では天皇陛下から、獣医師が幅広い分野で重要な役割を果たし社会に貢献をされているなど、われわれ獣医師に対する労い

の言葉をいただきました。また、天皇陛下は、皇后陛下、愛子内親王殿下と共に開会式に続いて行われた喜田教授の基調講演を大変興味深げに耳を傾けられており、そのお姿は夕刻のテレビニュースなどで大きく取り上げられ、わが国の獣医師の職務や獣医師会の活動、さらにその職責の重要性が国の内外へ広く周知されることにもなり、多くの方から大変意義深い大会であったと高い評価をいただきました。大会期間中も世界各国から5,000人を超える獣医師、獣医療関係者等が集い、大会のテーマであるワンヘルスを中心とした獣医学実務研究発表、各種のセッションが企画され、各会場において熱心な討議が行われました。そして、最終日には本大会の成果であるワンヘルス東京宣言2026が読み上げられ、大会は盛会のうちに終了いたしました。

陛下はお言葉の中で、本大会のテーマであるワンヘルス実践の取組とともに、獣医師の果たす役割がより一層重要となると認識されている旨述べられました。今後、私は世界獣医師会会長として、国内はもとより地球規模での広範な視点を持って、世界各国の獣医師及び獣医師会関係者と手を携え、さらなるワンヘルスの実践活動の推進に取り組むとともに、引き続き世界における獣医界の発展に尽力してまいります。

本日ご参会の皆様方におかれましても、これまで以上のご支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、これまで最優先で取り組んでまいりました事務事業の経費削減、事業の見直しについては、中長期的な視点で本会の財政運営、事務事業等の改善・効率化等、本会の組織運営に係る課題解決に引き続き取り組んでまいります。また、地方自治体に対し、広く運用の推進に努めている本会の犬登録支援システム、効果的な実施に向け取組を進めている人材紹介事業に加え、ワンヘルスの理念の下、ペットとの暮らしが人々の心身の健康や地域社会にもたらす意義を改めて社会に示し、その価値を広く共有することによりわが国における健全な人と動物の共生社会の実現に資することを目的とする、Thanks Buddy Projectなどの事業にも積極的に取り組んでまいります。

本日は、今月22日に開催されます第83回通常総会をはじめ、役員候補者の選出等、重要事項についてご協議いただきます。皆様方には忌憚のないご意見を寄せいただき、本会の適正な運営にご尽力を賜りますようお願い申し上げます。私からの挨拶といたします。

【決議事項】

第1号議案 令和7年度事業報告及び決算に関する件

伏見専務理事から、資料に基づき説明された。

続いて、6月3日、4日の両日実施された決算監査の

結果について、監事から以下の通り監査報告がなされた。

私たち幹事は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの事業年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

事業報告等の監査結果、事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

計算種類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果、

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上、監査報告です。

第2号議案 第83回通常総会に関する件

伏見専務理事から第83回通常総会における議案、出席者、議長・副議長候補者等が説明され、異議なく了承された。

第3号議案 役員候補者の選出に関する件

伏見専務理事から、篠原公七四国地区理事が任期途中の令和8年3月4日に逝去されたことに伴い、6月22日に開催する第83回通常総会において補欠選任を行う役員候補者について、役員候補者推薦管理委員会委員長から提出され、会長が受理した役員候補者名簿が会長から本理事会に提出されたことから承認を求める旨説明され、異議なく了承された。

第4号議案 賛助会員の入会に関する件

伏見専務理事から資料に基づき説明され、賛助会員1名の入会について異議なく了承された。

第5号議案 諸規程の一部改正に関する件

伏見専務理事から、令和8年度から国家公務員の配偶者手当が廃止されたことを受け、日本獣医師会職員給与規程の一部を改正すること、また、これまで育児及び介護の時間短縮時の給与の計算方法等の取扱いが関係規程に明示されていなかったことから「日本獣医師会職員給与規程」及び「日本獣医師会育児休業・介護休業等規程」の一部を改正することについて資料に基づき説明され、意義なく了承された。

【協議事項】

本会事務・事業の経費削減・改善案に関する件

伏見専務理事から、資料に基づき本会事務・事業の経費削減・改善案について説明された。

【説明・報告事項】

1 狂犬病予防法に基づく自治体事務のDX化等に関する件

伏見専務理事から、対応方針が説明された。

犬の登録支援システムは開発が完了し、自治体に向けて引き続き案内中であるが、現在、問合せがあったのは46自治体、うち具体的な検討のためのテストサイトアカウントを設定した自治体が12自治体あるが、いずれも正式導入には至っていない。導入に向けて地方獣医師会を通じた働きかけの継続が求められている。本会による直接契約を検討する方法もあるが、地方会の基幹業務である狂犬病予防注射関連事業との関係を十分に考慮して調整する必要があるため、地方会の協力は必須である。導入への希望がある自治体には本会の役員等が直接お伺いして後押ししたい。すでにシステムを構築している自治体に変更を求めるものではないが、これから検討する自治体にはぜひ活用いただきたい。

2 第41回世界獣医師会大会(WVAC)の開催報告に関する件

伏見専務理事から資料に基づき説明され、以下のとおりお礼が述べられた。

このたびの世界獣医師会大会の開催にあたっては、多くの皆様のご協力により無事終了することができました。本当にありがとうございました。私をご先導した愛子内親王殿下からは「すばらしい開会式でした」というお言葉をいただきました。世界的にも評価される大会となりましたことに感謝いたします。ありがとうございました。

開会式の後、4月21日の総会で藏内会長が正式に世界獣医師会の会長に就任したことに続き、日本獣医師会獣医学術学会年次大会を併せて学術プログラムが口演とポスター発表あわせて約350演題ございました。ワンヘルスとスポーツなどのスペシャルセッション、スポン

サー各社によるセミナーやブース出展、ウエルカムディナー、オフィシャルディナー等多彩な内容に多くの皆様にご参加いただきました。

閉会式では、栗本副会長によるWVAワンヘルス東京宣言が発表されるとともに、次期大会の主催であるメキシコ獣医師会のグスタボ会長に藏内会長から大会旗が渡され、盛況のうちに幕を閉じました。参加者数や来場した国と地域等については改めて報告させていただきたいと思います。

3 令和8年度動物愛護週間中央行事及び2026動物感謝デーin JAPAN “World Veterinary Day”の開催に関する件

伏見専務理事から資料に基づき、動物愛護週間中央行事の屋内行事は9月19日土曜日に、屋外行事は11月14日に開催されます。動物感謝デーは屋外行事と同日同会場開催で11月14日に上野公園で開催されることについて説明された。

4 第44回日本獣医師会獣医学術学会年次大会(令和8年度)の開催に関する件

伏見専務理事から、資料に基づき令和8年度に開催する獣医学術学会年次大会が2月27日から28日までの2日間、麻布大学で開催し、歓迎交流会は町田駅近くのレンブラントホテルで行うこと、神奈川県獣医師会の共催、関東地区獣医師会連合会の協力、さらに横浜市獣医師会にもご説明させていただいていること、大会運営業務委託会社は地域力活性化研究室に決定していることが説明された。

5 特別委員会及び部会委員会に関する件

部会委員会の全体の進捗状況について伏見専務理事から説明された。続いて、ワンヘルス推進検討委員会について草場理事から、学術・教育・研究部会について佐藤れえ子理事から、産業動物臨床部会について立川理事から、動物福祉・愛護部会及び学校動物飼育支援対策検討委員会について佐伯理事からそれぞれ説明された。

6 職務執行状況に関する件(業務運営概況等を含む)

伏見専務理事から、本年2月1日から4月30日までの概況が説明された。

7 その他

(1) 上野理事から、世界獣医師会大会でのThanks Buddy Projectの実施のお礼と報告が述べられた。今後について、Thanks Buddy Projectが動物と暮らす魅力の発信につながるよう、人と動物の共生社会の普及啓発を進め、活動が広がるよう努力したい旨説明さ

れた。

- (2) 森理事から獣医学術学会年次大会の他団体との合同開催について質問があり、伏見専務理事及び佐藤学術・教育・研究職域理事から検討中である旨回答された。
- (3) 森理事からレプトスピラ症や SFTS に対する診療対応について、現場での安全対策等に関する問題提起があり、今後関係職域部会における委員会等で議論を深めることとされた。

【連絡事項】

1 当面の主要会議等の開催計画に関する件

伏見専務理事から当面の関係会議等の開催日程が説明

された。

2 日本獣医師連盟の活動報告に関する件

伏見会計責任者から、関連会議への出席、要請活動等について説明された。

3 その他

【閉 会】

藏内会長から全ての議案が終了した旨報告され、円滑な議事進行への協力にお礼が述べられた後、事務局から閉会が告げられた。